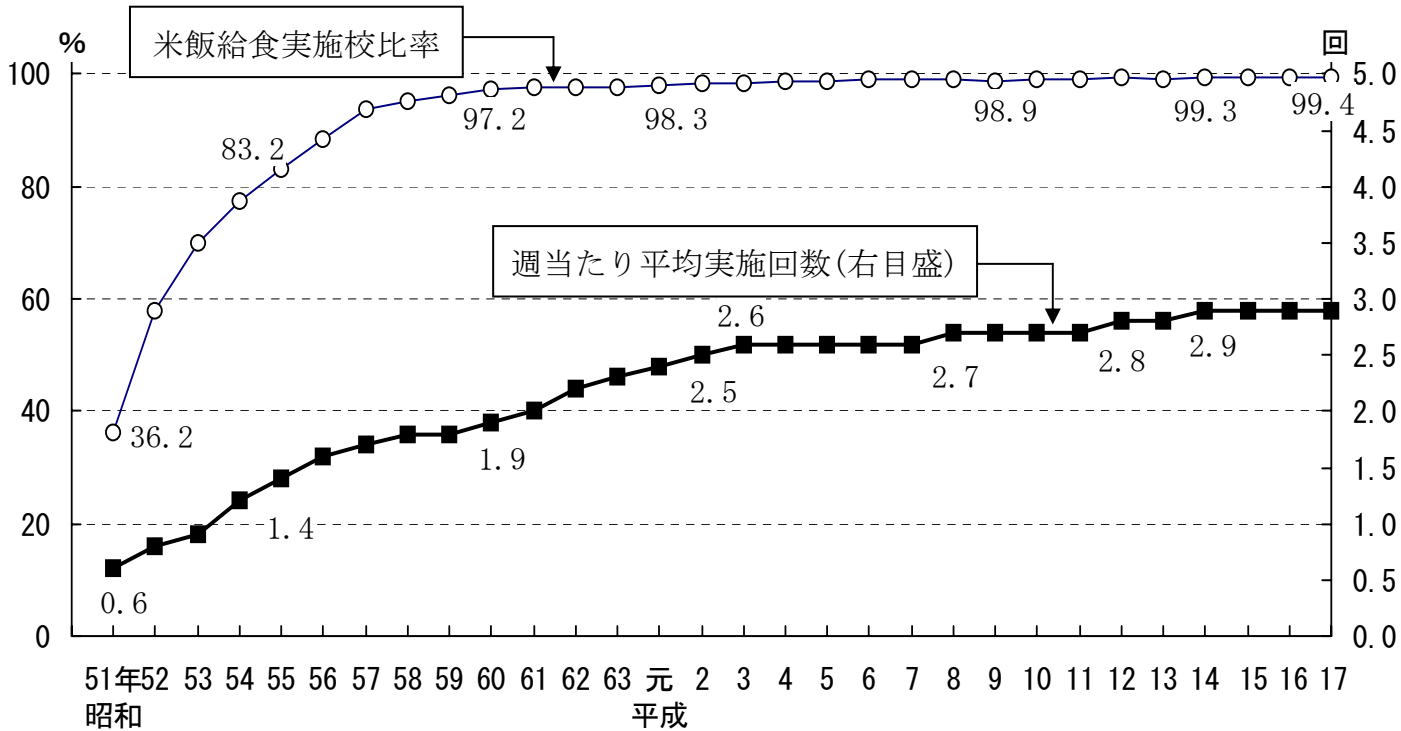


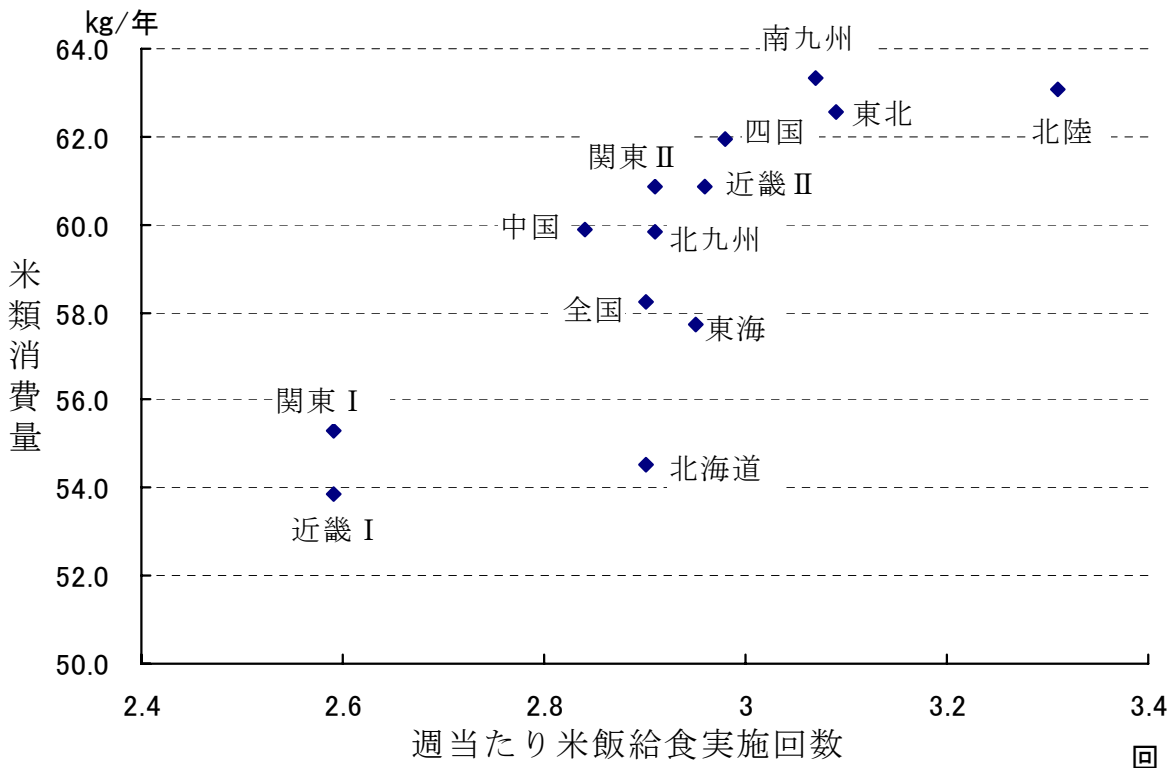
(1) 米飯給食の推移

○ 米飯給食の実施比率と週当たり実施回数



資料：文部科学省「米飯給食実施状況調査」

○ 米飯給食の実施回数と米消費量



資料：文部科学省「米飯給食実施状況調査」、厚生労働省「国民栄養調査」より農林水産省で作成

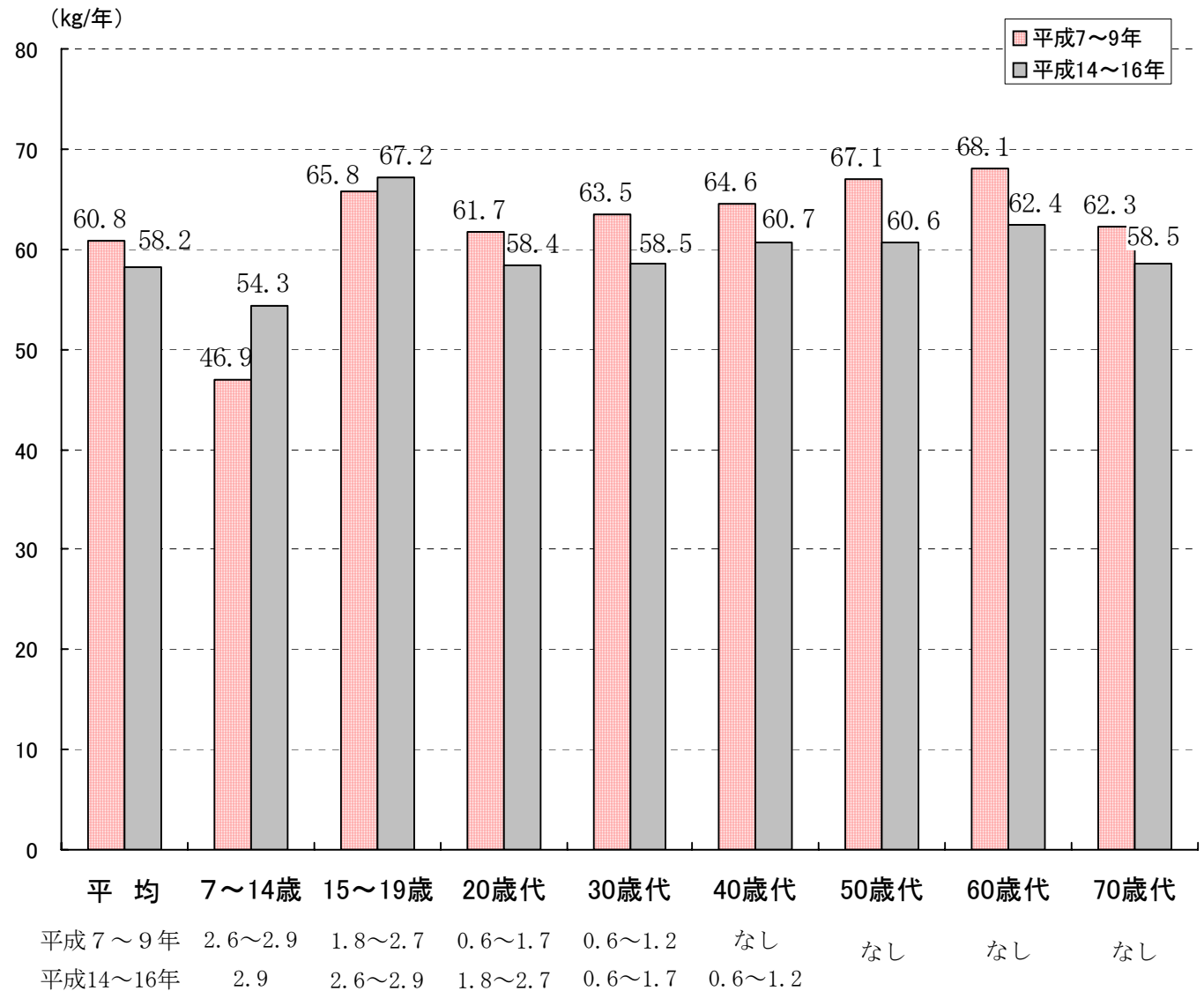
注：「関東 I」は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、「関東 II」は、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県

「近畿 I」は、京都府、大阪府、兵庫県、「近畿 II」は、奈良県、和歌山県、滋賀県

「北九州」は、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、「南九州」は、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

(2-1) 米類の摂取量の比較

○ 世代別米類摂取量(平成7-9年平均と14-16年平均・男女計)



※平成7～9年、平成14～16年の数字は、当該年に当該世代が1週間当たり米飯給食した実施回数である。

資料：厚生労働省「国民栄養調査」、文部科学省「米飯給食実施状況調査」

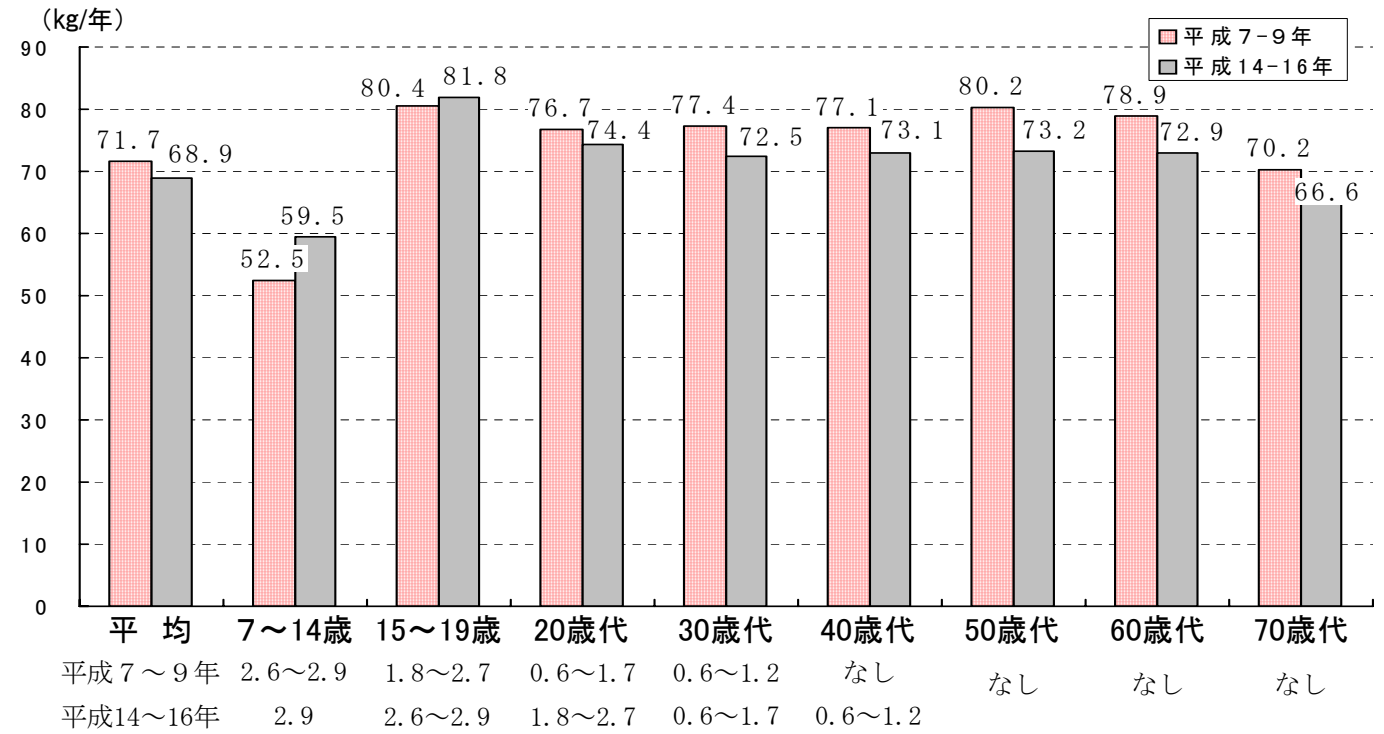
注1：40～43歳までの実績であり、44～49歳では、ほとんどの人が米飯給食を体験していない。

注2：「国民栄養調査」は平成13年に米類の摂取量に変更されたため、それ以後の数値について、「重量変化率」の2.2で除して接続した。

注3：「国民栄養調査」は1日当たりの調査であるが、365日に乗じて年換算した。

(2-2) 米類の摂取量の比較(男女別)

○ 世代別米類摂取量(平成7-9年平均と14-16年平均・男性)



※平成7~9年、平成14~16年の数字は、当該年に当該世代が1週間当たり米飯給食した実施回数である。

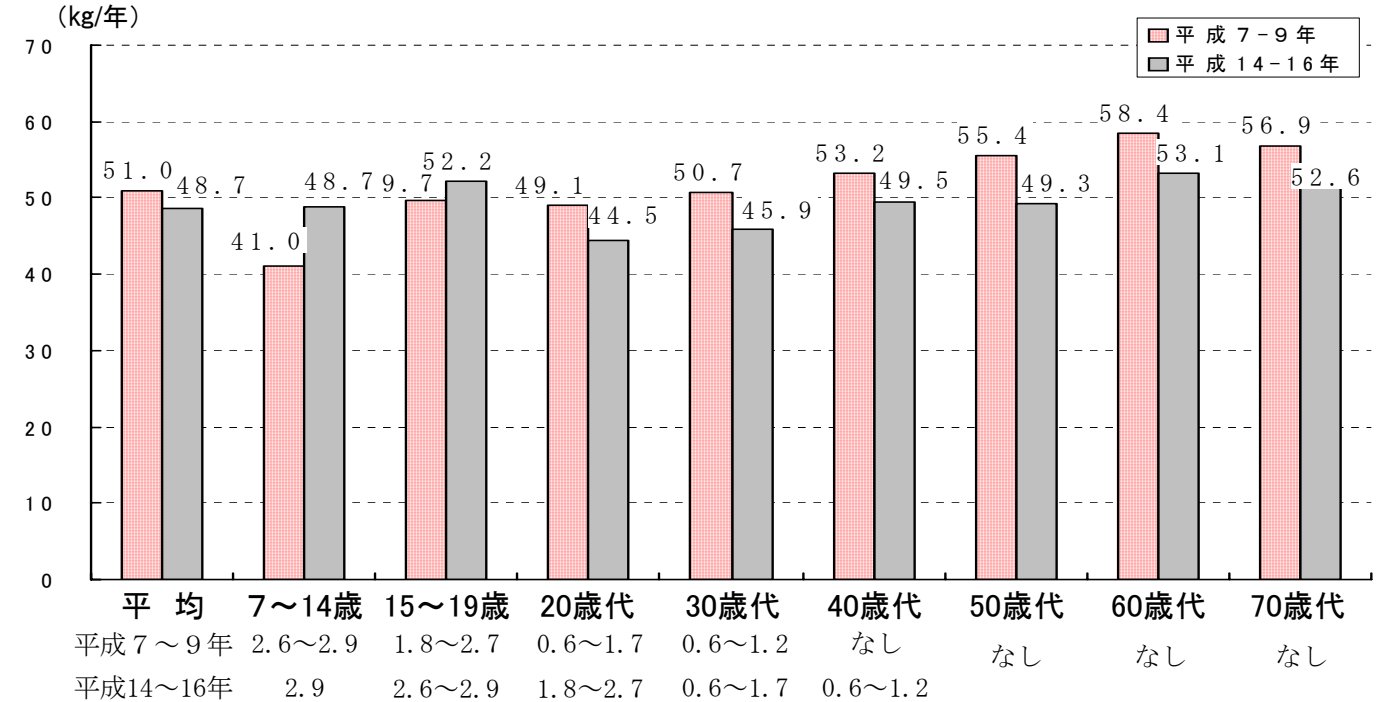
資料：厚生労働省「国民栄養調査」、文部科学省「米飯給食実施状況調査」

注1：40~43歳までの実績であり、44~49歳では、ほとんどの人が米飯給食を体験していない。

注2：「国民栄養調査」は平成13年に米類の摂取量に変更されたため、それ以後の数値について、「重量変化率」の2.2で除して接続した。

注3：「国民栄養調査」は1日当たりの調査であるが、365日に乗じて年換算した。

○ 世代別米類摂取量(平成7-9年平均と14-16年平均・女性)



※平成7~9年、平成14~16年の数字は、当該年に当該世代が1週間当たり米飯給食した実施回数である。

資料：厚生労働省「国民栄養調査」、文部科学省「米飯給食実施状況調査」

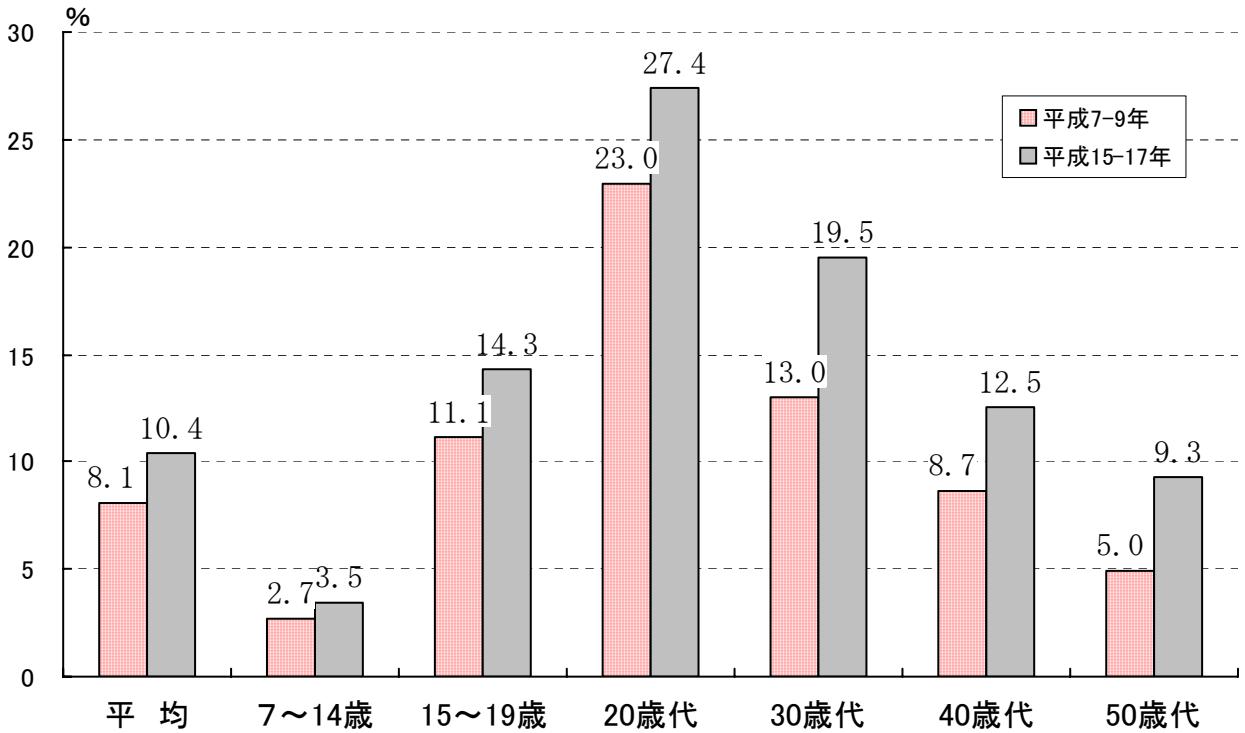
注1：40~43歳までの実績であり、44~49歳では、ほとんどの人が米飯給食を体験していない。

注2：「国民栄養調査」は平成13年に米類の摂取量に変更されたため、それ以後の数値について、「重量変化率」の2.2で除して接続した。

注3：「国民栄養調査」は1日当たりの調査であるが、365日に乗じて年換算した。

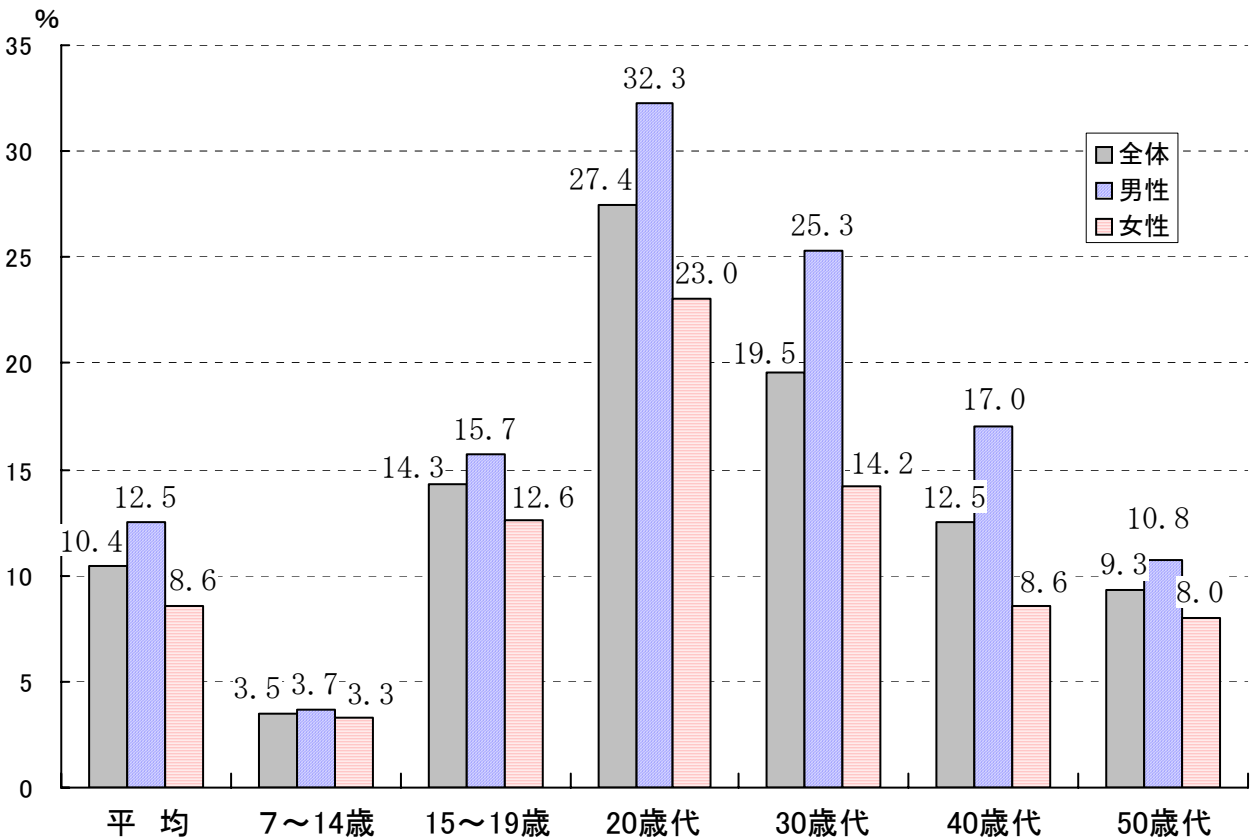
(3) 朝食の欠食率

○ 朝食欠食率の比較(平成7-9年平均、15-17年平均)



資料：厚生労働省「国民栄養調査」

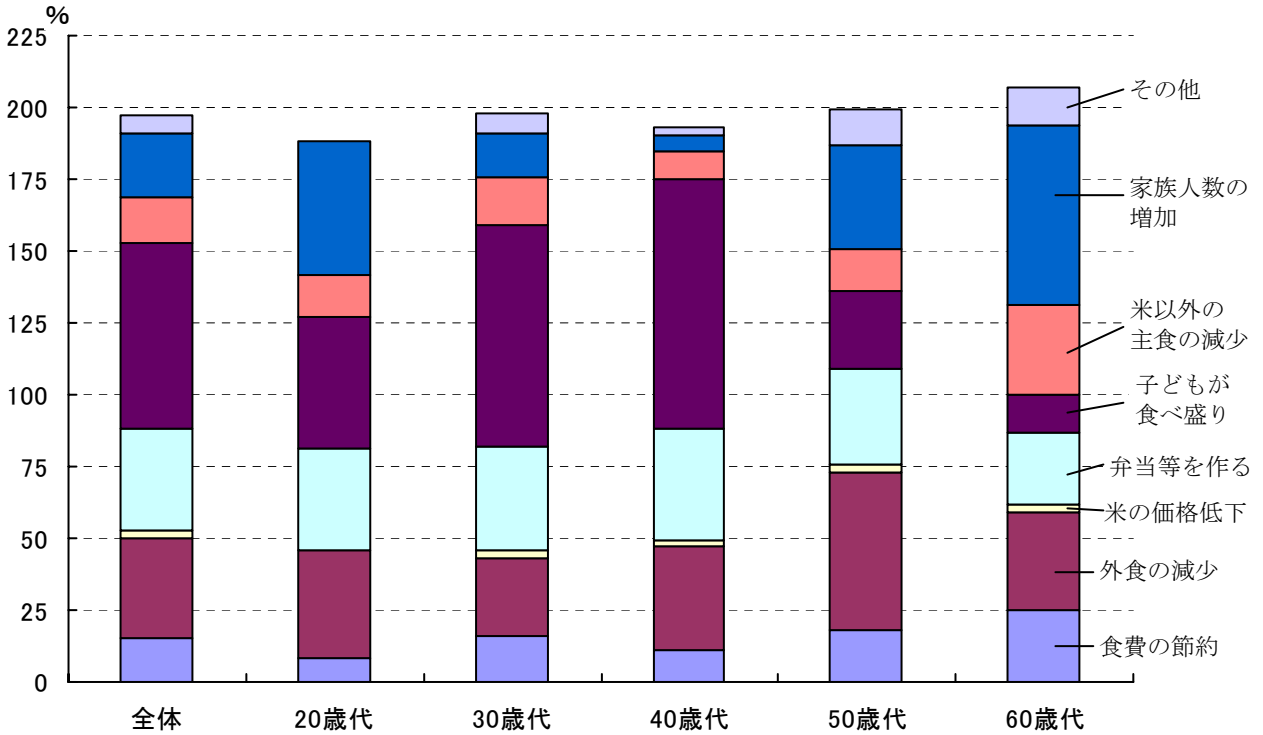
○ 世代別朝食欠食率(平成15-17年平均)



資料：厚生労働省「国民栄養調査」

(4) 米消費の増減要因(アンケート調査)

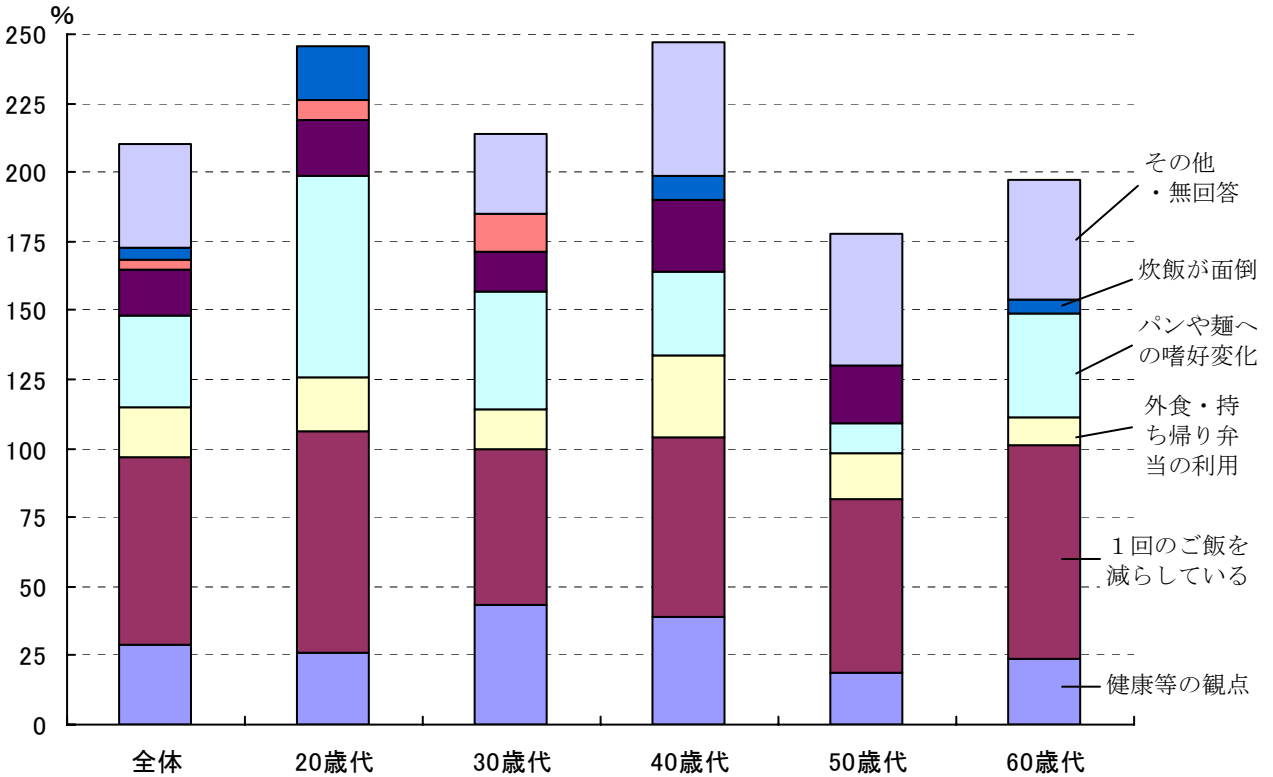
○ 米消費の増加要因



資料：農林水産省「平成16年度第3回食糧消費モニター調査（米の消費及び購入動向等について）」

注：回答は複数回答である。

○ 米消費の減少要因



資料：農林水産省「平成16年度第3回食糧消費モニター調査（米の消費及び購入動向等について）」

注：回答は複数回答である。